

2023年度 小委員会活動成果報告

(2024年1月8日作成)

小委員会名	室内空気質小委員会	主査名：鍵 直樹 就任年月：2023年4月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (空気環境運営委員会)	委員長名：大岡龍三 主査名：富永慎秀
設置期間	2023年4月 ～ 2027年3月	
設置目的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>(設置目的) 今まで注目を集めてきた室内空気中の化学物質のほか、新型コロナウイルスを含めた微生物、臭気、粉じんなど室内空気汚染物質全般について、新しい情報を収集し、関連する設計法及び測定法の規準や、居住者のための指針を提案することを目的とする。</p> <p>初年度：SVOC 及び臭気に関する WG を立ち上げ、最新情報の収集と学会規準制定に向けての検討を行うと共に、空気質に関する幅広い意見交換を行う。</p> <p>2年度：室内空気質の展開につながる室内空気汚染について情報交換を行う。</p> <p>3年度：各課題に対する室内空気質対策についての学会規準の検討を行う。</p> <p>4年度：今後の室内空気質のあり方について検討を行う。</p>	
委員構成 (委員名(所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>主査：鍵直樹 (東京工業大学) 幹事：金勲 (国立保健医療科学院) 委員：東賢一 (関西福祉科学大学)、一條佑介 (東北文化学園大学)、近藤恒佑 (清水建設)、斉藤智 (竹中工務店)、高塚威 (新日本空調)、竹村明久 (摂南大学)、野崎淳夫 (東北文化学園大学)、長谷川麻子 (宮城学院女子大学)、光田恵 (大同大学)、村上栄造 (朝日工業社)、柳宇 (工学院大学)、湯懷鵬 (新菱冷熱工業)、四本瑞世 (大林組)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	<p>室内の臭気測定法検討 WG：臭気に関する測定方法を提案</p> <p>SVOC 多経路曝露と測定法検討 WG：SVOC の汚染要因と測定法を検討</p>	
2023年度予算	140,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<ol style="list-style-type: none"> 室内空気質に関する最新情報の共有 新型コロナウイルスに関する空気環境の観点からの議論、大会 OS の企画
委員会活動の問題点・課題	特になし

*表中の赤字「(設置目的) (書名) (名称) (資料名)」は、記述を誘導するための説明である。記載の有無にかかわらず最終的には削除のうえ提出すること。

- *小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。
- *中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

環境工学委員会用 自己評価欄

2023年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・最終年度評価)

総合評価 (4段階評価)	Ⓐ	B	C	D
<p style="text-align: center;">総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)</p>	<p>本小委員会において、WHOにおける議論を参考に、室内空気中の化学物質のほか、微生物、臭気、アレルゲンなど室内空気汚染物質全般について、最新の情報を収集、意見交換を行った。また、室内の臭気測定法検討WG、SVOC多経路曝露と測定法検討WGを設定することにより、幅広い議論を行うことができた。</p> <p>以前に刊行した学会規準の絶版に関する議論を行い、今後の社会状況も含めて検討する必要がある、単純に絶版にすべきではないことの議論を行った。</p> <p>新型コロナウイルス感染症については、現在までの知見をまとめ、空気清浄機の効果についても、今後情報提供ができることを確認した。さらに今年度大会のOSとして、新型コロナウイルスに関するセッションについて、提案を行った。来年度大会においては、SVOCに関するセッションの提案を行った。</p> <p>新たな課題として、製図室におけるスプレーのりの使用が空気質に与える影響について、研究紹介と課題について議論を行った。</p>			

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
 - C評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
 - D評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価(シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など)に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。